

2020年10月1日～2023年5月30日の間に 当科において患者急変対応システムの介入を受けられた方及びご家族の方へ

「川崎医科大学附属病院における、患者急変対応システムの変更に伴う、院内急変の状況調査」
へのご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学麻酔・集中治療医学2	臨床助教	申 木蓮
研究分担者	川崎医科大学麻酔・集中治療医学2	教授	戸田 雄一郎
	川崎医科大学附属病院医療安全管理室	看護主任	井上 千穂
	川崎医科大学麻酔・集中治療医学2	臨床助教	八井田 望
	川崎医科大学麻酔・集中治療医学1	教授	中塚 秀輝

1. 研究の概要

院内におられる患者さんの容態が、何かしらの理由で急に悪化した際、状態によっては迅速な介入が必要になることがあります。当院ではそのようば場合に対応を行うためのシステムがあり、要請に応じて専門のチームが出動し、生命を守るために迅速で集中的な治療を行っています。

我々はシステムの運営をより良いものにし、患者さんにより良い医療を提供するため日々検討を行っておりますが、その中で、2022年3月に前述のシステムの名称や内容を改変しました。その前後で実際の診療がどう変化したか、良くなった点や新たな問題点があるかを調査します。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2020年10月1日～2023年5月30日の間に川崎医科大学附属病院において患者急変対応システムの介入を受けられた方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2025年06月30日

3) 研究方法

上記の研究対象期間において患者急変対応システムの介入を受けられた方で、研究者がその記録や診療情報をもとに調査を行います。システムの変更前後でのデータの違いがあるかどうかの解析を行います。

4) 使用する情報の種類

年齢、性別、担当診療科、システム介入時の全身状態、介入後の状態の変化 等

5) 情報の保存及び二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学麻酔・集中治療医学2の実験室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2024年2月29日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学 麻酔・集中治療医学2

氏名：申 木蓮

電話：086-462-1111

内線 25512（平日：8時30分～17時00分）

E-mail：mokuren5420@gmail.com

3. 資金と利益相反

この研究は、学内研究費を用いて行われる予定です。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。